

科目名	農畜林業基礎概論		科目番号	基-1
担当教員	県産品振興課、教務課担当教授	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～6月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業技術の習得や講義の理解に必要な事項、用語などについて、重要な基礎知識を修得する。			
授業概要	①農林業を学ぶ上で必要な基本的な事項について学ぶ。 ②日本および香川県の農業の現状と課題、農業の基本技術や専門用語など、基礎的事項を幅広く学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	はじめに(香川県の農林業の現状)		
	第2時限	植物の性質と栽培の基本		
	第3時限	栽培技術と管理の基本		
	第4時限	土・肥料の役割と土壌管理の基本		
	第5時限	病虫害防除の基本		
	第6時限	香川県の野菜		
	第7時限	香川県の果樹		
	第8時限	香川県の花き		
	第9時限	畜産の特徴と経営動向、香川県畜産の現状		
	第10時限	畜産についての基本事項(家畜・家きんの種類等)		
	第11時限	林業と造園のつながり、森林の働きと林業の役割、香川県の林業		
	第12時限	造園とは何か? 造園分野の基本的な役割		
	第13時限	香川県の農畜林産物のブランド戦略(マーケティングの基本)		
	第14時限	商品シートを考えてみよう(演習)、テスト		
	第15時限	農業に必要な計算問題		
	第16時限	テスト <span style="float: right;">②1回に2時限分を実施する</span>		
テキスト、参考書	図解でよくわかる農業のきほん(誠文堂新光社、堀江武) 最新版図解知識ゼロからの現代農業入門(家の光協会、八木宏典) 改訂日本農業技術検定3級テキスト(全国農業高等学校長会)ほか			
成績評価法	試験、出席状況、授業態度により評価する			
その他	テスト等、評定の総括は副校長			

科目名	水稻・麦類概論		科目番号	基-2
担当教員	農業生産流通課、農業試験場	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6～7月・9月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	米と麦類の生産と消費動向のほか、水稻、麦類の植物学的特性や栽培技術の基礎知識・応用能力を養う。			
授業概要	水稻及び麦類の生産と消費動向、品種、生理生態、栽培管理など作物に関する基礎的事項について幅広く講義する。			
授 業 計 画	第1時限	水稻・麦の栽培管理		
	第2時限	水稻・麦の栽培管理		
	第3時限	水稻・麦の栽培管理(テスト含む)		
	第4時限	水稻・麦の品種と生理生態		
	第5時限	水稻・麦の品種と生理生態		
	第6時限	水稻・麦の品種と生理生態(テスト含む)		
	第7時限	米の消費、生産、需給に関する動向		
	第8時限	麦の消費、生産、需給に関する動向(テスト含む)		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	作物講義資料を配布する。			
成績評価法	試験の成績により評価する。			
その他				

科目名	遺伝子資源活用概論		科目番号	基-3	
担当教員	農業試験場・果樹研究所・オリーブ研究所	科目区分	基礎教育科目		
対象学年、コース	1学年	開講時期	9～10月		
単位数	1	必須・選択の別	選択		
授業目標	生物工学の農業、特に園芸における役割、技術的内容等についての理解を深める。				
授業概要	生物工学の背景となる知識・技術、生物工学の農業分野(特に園芸分野)への応用などについて講義する。				
授業計画	第1時限 第2時限	生物工学(バイオテクノロジー)概論(テスト含む)			
	第3時限 第4時限	作物における研究概論(テスト含む)			
	第5時限 第6時限	野菜・花きにおける研究概論(テスト含む)			
	第7時限	果樹における研究概論(テスト含む)			
	第8時限	オリーブにおける研究概論(テスト含む)			
	⑨1回に2時限分を実施する				
	テキスト、参考書	補足資料を適宜配布する			
	成績評価法	試験の成績に出席状況や受講態度を加味し評価			
その他	※園芸(野菜・花き・果樹)、畜産コースの受講科目				

科目名	緑地環境計画		科目番号	基-4
担当教員	守屋均(元香川大学)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	9~10月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	大規模緑地や自然公園の保全、管理に関わる植物生態学の基礎を理解する。また、自然環境の保全や創造のための緑化のあり方を学ぶ。			
授業概要	植生分布、植生遷移の基礎知識について解説する。国営讃岐まんのう公園の見学を通して里山における人と自然との関わり合いを体験し、また、自然緑地の保全、再生について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	植生分布と環境要因		
	第2時限	植生遷移		
	第3時限	日本の現存植生		
	第4時限	人と自然環境との関わり合い		
	第5時限	国営讃岐まんのう公園自然生態園見学		
	第6時限	国営讃岐まんのう公園自然生態園見学		
	第7時限	緑地の機能・効果、都市公園と自然公園		
	第8時限	自然環境の保全、再生		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	授業中にプリントを配布する			
成績評価法	授業中の小テストおよび本講義終了後の課題レポートにより評価する			
その他	※林業・造園緑化コースの受講科目			

科目名	植物防疫		科目番号	基-5
担当教員	農業試験場	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	病害虫の発生要因の理解、病害虫の種類及びその発生生態とともに防除技術を学び、植物防疫の総合的な知識を習得する。また、農薬についての基本的な知識を習得する。			
授業概要	病害虫の生態等を種類ごとに紹介し、その見分け方と防除法を解説する。農薬の安全で効果的な使用方法について、栽培と関連づけながら防除体系作成法等を紹介する。			
授 業 計 画	第1時限	病害虫概要		
	第2時限	農薬の種類とその作用・安全で効率的な使用方法		
	第3時限	害虫の種類と形態および昆虫の生理		
	第4時限	様々な害虫防除		
	第5時限	病原の種類と性質(細菌、糸状菌、ウイルス)		
	第6時限	病気の診断、抵抗性、防除方法		
	第7時限	病気の被害予測		
	第8時限	テスト		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	テストの成績により評価			
その他				

科目名	雑草学	科目番号	基-6
担当教員	農業試験場・果樹研究所	科目区分	一般教養科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	7・9・12月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	雑草に関する知識を深め、雑草管理、雑草防除技術を身につけることを目標にする。		
授業概要	各作物に関する雑草の種類やその特徴、防除技術など幅広く講義する。		
授 業 計 画	第1時限	雑草学概論	
	第2時限	雑草学概論(小テスト含む)	
	第3時限	水稲作・麦作における雑草管理	
	第4時限	水稲作・麦作における雑草管理(小テスト含む)	
	第5時限	果樹園地における雑草管理	
	第6時限	果樹園地における雑草管理(小テスト含む)	
	第7時限	野菜栽培における雑草管理	
	第8時限	野菜栽培における雑草管理(小テスト含む)	
		②1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	印刷資料を配布		
成績評価法	小テストを4回行い、100点満点で評価(各25点満点)		
その他			

科目名	土壌肥料	科目番号	基-7
担当教員	農業試験場・果樹研究所	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～6月
単位数	2	必須・選択の別	必須
授業目標	農作物の生育に必要な養分や水分を供給する土壌及びこれらを補完する肥料について、その基礎的な知識を学ぶ。		
授業概要	土壌の生成やその構成成分、作物と土壌の関係などの土壌学の基礎事項及び作物の栄養分とその吸収システム、肥料の種類や施肥技術などの肥料学の基礎事項を講義する。		
授業計画	第1時限	土壌の生成と分類	
	第2時限	作物の健全な生育と土壌環境	
	第3時限	作物生育と土壌の物理性	
	第4時限	作物生育と土壌の生物性	
	第5時限	土壌改良	
	第6時限	土壌肥料分野におけるスマート農業	
	第7時限	復習など	
	第8時限	テスト	
	第9時限	作物の必須元素	
	第10時限	作物の養分吸収	
	第11時限	肥料の分類とその種類	
	第12時限	各肥料の特徴と使用方法	
	第13時限	施肥の概念	
	第14時限	施肥技術と施肥設計	
	第15時限	施肥設計演習	
	第16時限	テスト	
	⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	土づくりと作物生産(日本土壌協会)		
成績評価法	テスト(2回)により評価		
その他			

科目名	有機農業	科目番号	基-8
担当教員	津田遼平(農業経営課)	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	12月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	環境保全や消費者ニーズの高まりなどに対応した有機農業(特別栽培を含む。)の基礎知識を習得する。		
授業概要	有機農業等に取り組むに当たって必要となる知識及び有機農産物等の生産流通の現状並びに有機JAS取得手続きについて講義する。		
授業計画	第1時限	有機農業の現状〔有機農業とは、現状、課題〕	
	第2時限	有機農産物の規格〔JAS規格の概要、認定手続き〕	
	第3時限	土づくりの意義〔土づくりの考え方、方法〕	
	第4時限	土づくりの実際〔土づくりの資材、土壌診断〕	
	第5時限	有機農業の基本技術〔病虫害、雑草防除法〕	
	第6時限	本県の有機農業の現状〔県内の取組み者紹介〕	
	第7時限	有機農業による栽培事例・制度紹介	
	第8時限	テスト	
		⑨1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	印刷資料を配布		
成績評価法	試験の成績で評価		
その他			

科目名		農業気象と環境		科目番号	基-9
担当教員		松田 周(西日本農業研究センター)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	1~2月	
単位数		1	必須・選択の別	必須	
授業目標		一般気象学の基本知識、作物と気象のかかわりについて理解させる。			
授業概要		グローバルから農地規模までの気象学の基礎、気象測定法、気象と作物生産の関係、昨今の農業気象問題について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	農業気象研究の立場から			
	第2時限	気象学基礎			
	第3時限	気象要素とその測定法			
	第4時限	農地の微気象			
	第5時限	施設の環境調節			
	第6時限	農業気象災害と異常気象			
	第7時限	作物生産と微気象			
	第8時限	テスト			
⑨1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		各回ごとに印刷資料			
成績評価法		主に試験の成績により評価する			
その他					

科目名	農業機械		科目番号	基-10
担当教員	田中利幸	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	1~2月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業機械を安全かつ効率的に利用するための知識を習得する。			
授業概要	農業機械の全般的な知識を習得するための講義。			
授 業 計 画	第1時限	農業機械の利用と現状		
	第2時限	農業機械の安全作業、小テスト		
	第3時限	トラクターの構造		
	第4時限	トラクターの点検・整備、小テスト		
	第5時限	内燃機関の構造		
	第6時限	内燃機関の点検・整備、小テスト		
	第7時限	燃料と潤滑油、伝動装置、電動機		
	第8時限	テスト		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	新版 農業機械の構造と利用(農文協、藍房和)			
成績評価法	テスト、受講態度			
その他				

科目名	農畜林産物流通		科目番号	基-11
担当教員	農業生産流通課、畜産課、県産品振興課他	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農畜林産物の需給事情、流通形態、マーケティングなど流通に係る基礎知識を習得する。			
授業概要	農畜林産物の市場流通の歴史や役割、流通の多様化と商品づくりなど流通形態、マーケティングを中心に最近の流通に係る話題も盛り込みながら、基礎知識を習得する。			
授業計画	第1時限	最近の小売業や業務関連の流通と販売事情、テスト		
	第2時限	最近の米(及び麦)の流通事情とJA香川県の販売戦略		
	第3時限	オリジナル品種「おいでまい」を中心に県産米のブランド化、販路開拓に向けた香川県の取り組み、テスト		
	第4時限	オリジナル品種「さぬきの夢」を中心に県産麦のブランド化、販路開拓に向けた香川県の取り組み、テスト		
	第5時限	最近の花きの流通事情、テスト		
	第6時限	最近の林産物の流通事情、テスト		
	第7時限	畜産物流通のしくみ 牛乳、牛肉の流通		
	第8時限	豚肉、鶏肉、鶏卵の流通 牛肉トレサビリティ制度、テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	テスト、レポートによる (原則各回小テストを実施、各テストの平均点で評価)			
その他				

科目名	農福連携		科目番号	基-12
担当教員	農政局、障害福祉課、農業生産流通課他	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく農福連携の取組みについて理解をするとともに推進にあたっての課題等について理解を深める。			
授業概要	農福連携の推進や取組みについての現状と課題について、国、県、地域段階における講義及び取組み農業者への現地研修を実施する。			
授 業 計 画	第1時限	農福連携実践農業者への現地研修(琴平町)		
	第2時限	香川県における農福連携の取組み		
	第3時限	香川県における農福連携の現状と課題		
	第4時限	①全国段階における農福連携の推進方針と取組み等について ②農福連携の広がり・法務省の取組実践について		
	第5時限	農福連携実践農業者への現地研修、障害者との交流(さぬき市)		
	第6時限			
	第7時限	障害福祉サービス事業所の施設見学、障害者との交流(観音寺市)		
	第8時限			
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	各回ごとに印刷資料を配付、パワーポイント等の資料により説明			
成績評価法	各回ごとに小テストまたはレポート提出、受講態度で評価			
その他	「農業行政Ⅰ」との選択			

科目名	農業行政 I		科目番号	基-13
担当教員	中四国農政局香川県拠点職員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	食料・農業・農村の現状と農林水産省の主要施策の概要について理解を深める。 また、グループ討議をとおして学生の考えるきっかけの場をつくり、活発的発言を求める。			
授業概要	食料・農業・農村をめぐる情勢、農林水産省の主要な施策・制度、食の安全・安心、食品表示の基礎的な知識を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	食料・農業・農村をめぐる課題と施策		
	第2時限	経営所得安定対策について		
	第3時限	統計データでみる中国四国地域の農業について		
	第4時限	統計データ分析について		
	第5時限	農村振興施策の概要について		
	第6時限	みどりの食料システム戦略について		
	第7時限	農業経営(新規就農、収入保険、輸出等)、農業版BCPについて		
	第8時限	【グループ討議】農畜産物の輸出拡大に必要なこと		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	授業ごとに資料を配付するとともにパワーポイント等の資料を活用して説明			
成績評価法	効果測定と出席で評価する			
その他	「農福連携」との選択			

科目名		農林業行政Ⅱ		科目番号	基-14
担当教員		農政課、農業経営課		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	6～7月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		認定農業者制度等、農業関係行政機関が推進している施策政策について学習し、経営感覚に優れた担い手の育成につなげる。			
授業概要		農業経営基盤強化法の概要、認定農業者や集落営農、新規就農者、などについて、本県における実態と県の施策などを講義する。			
授 業 計 画	第1時限	香川県農業の現状			
	第2時限	6次産業化・地産地消の取り組み(小テスト)			
	第3時限	集落営農の推進(小テスト)			
	第4時限	普及センターの役割と活動、農業試験場の研究活動(小テスト)			
	第5時限	環境にやさしい農業(小テスト)			
		農地制度(小テスト)			
	第6時限	GAPの推進(小テスト)			
	第7時限	認定農業者制度と担い手育成支援			
	第8時限	新規就農促進、青年農業者活動支援(小テスト)			
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法		各回テストを実施し、テストの成績により総合評価			
その他					

科目名	食品保蔵・加工学		科目番号	基-15
担当教員	牧野義雄(香川短期大学教授)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	10月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	生鮮物としての農産食品の鮮度・品質変化の特徴を把握するとともに、それを踏まえた保存法について理解を深める。食品加工の意義や食の安全を脅かす主な危害要因を把握するとともに、衛生管理の基本的な行動規範を習得する。			
授業概要	生鮮物としての農産食品は一次産品とも呼ばれ、食料品そのもの、あるいは加工食品の原材料として、消費者の食生活を支えている。本講義では、保存が困難な農産食品の鮮度・品質変化と有効な保存法について解説する。続いて、農産食品を原料とする主な加工食品の製造法と、食品が最低限満たすべき条件としての安全性に関する内容について講義する。			
授業計画	第1時限	農産食品の鮮度・品質変化とその定量化法		
	第2時限			
	第3時限	農産食品の保存法		
	第4時限			
	第5時限	主な農産加工品の製造法		
	第6時限			
	第7時限	食中毒とその防止法としての衛生管理		
	第8時限			
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	主にパワーポイントで作成した資料を映写して説明する。			
成績評価法	各授業日にミニレポートを提出すること。成績は4回(25%×4回)のミニレポートで評価する。			
その他	「農業土木と水利」との選択			

科目名		農業土木と水利		科目番号	基-16
担当教員		片岡幸司(土地改良課)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	10月
単位数		1		必須・選択の別	選択
授業目標		農業を行う上で、必要となる農業用排水路やため池、農道などの「農業生産基盤」について、その役割や重要性、また本県の特徴について理解する。			
授業概要		降雨の少ない本県においては、用水開発の歴史は本県農業発達の歴史であるといわれるように本県農業と農業水利は密接な関係があり、農業と農業土木の関係を通して、整備内容やその効果、多面的機能、歴史等について講義する。			
授業計画	第1時限	香川県の農業の概要			
	第2時限	農業土木の概要			
	第3時限	農業農村整備事業の変遷			
	第4時限	ほ場、農業用排水、農道、ため池等整備			
	第5時限	香川の水			
	第6時限	さぬきのため池、香川用水			
	第7時限	農業水利			
	第8時限	テスト			
		⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書		関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法		試験成績による			
その他		「食品保蔵・加工学」との選択			

科目名		マーケティング論		科目番号	基-17
担当教員		趙命来(香川大学経済学部)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	6月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		本講義では、マーケティングの基本的な考え方を理解し、企業が行っている活動を読み解く力を養うことを目標とする。これを通じて、身近な企業や商品をマーケティングの視点から主体的に捉えることができるようになる。			
授業概要		本講義は、マーケティングを初めて学ぶ学生を対象に、企業がどのように商品やサービスを生み出し、それを顧客に届けているのかを理解することを目的とする。こうした企業活動を「価値を生み出す活動」として捉え、「マーケティングとは何か」「企業はいかに顧客にとっての価値を生み出すのか」といった問いを手がかりに、基本的な考え方(理論)を学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	1. なぜマーケティングは生まれたのか: 誕生の背景			
	第2時限				
	第3時限	2. マーケティングの考え方: マーケティング発想			
	第4時限				
	第5時限	3. 価値をどう見つけるか: STP			
	第6時限				
	第7時限	4. 価値をどう形にするか: マーケティングの4P			
	第8時限				
		⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書		適宜資料を配布します。			
成績評価法		テスト、レポート、出席状況、などを総合的に評価します。			
その他					

科目名	マーケティング・マネジメント(旧演習)		科目番号	基-18
担当教員	趙命来(香川大学経済学部)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	9~10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	本講義では、企業がどのように商品やサービスを市場に展開しているのかを理解し、企業の取り組みを自分なりに考える力を身につけることを目標とする。これを通じて、企業のマーケティング・マネジメントを実践的に捉えることができるようになる。			
授業概要	本講義は、マーケティング論で学んだ考え方をもとに、実際の企業事例を取り上げながら、企業がどのように商品やサービスを企画し、顧客に届けているのかを学ぶ。企業が価値を生み出すために行っている具体的な取り組みを通して、マーケティング・マネジメントの基本を理解することを目指す。			
授 業 計 画	第1時限	誰に・何を届けるかを定める:STPと製品マネジメント		
	第2時限			
	第3時限	価値をどう伝えるか:広告マネジメント		
	第4時限			
	第5時限	いくらで売るかを考える:価格マネジメント		
	第6時限			
	第7時限	どうやって届けるか:流通マネジメント		
	第8時限			
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	ショートケースの資料は事前に配布します。			
成績評価法	テスト、レポート、出席状況、などを総合的に評価します。			
その他	マーケティング論を履修することを推奨します。			

科目名	農業経営	科目番号	基-19
担当教員	堤 友梨(農業経営課専門指導員)	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	9~10月
単位数	2	必須・選択の別	必須
授業目標	社会環境に対応した次世代の農業ビジネスの基本的な方向とそれを担う経営者の役割、機能について認識させる。		
授業概要	農業経営を構成する要素と変化する社会環境、それに対応するための経営運営、マーケティング等を進めるうえで農業経営者として備えるべき能力について、現地事例などに基づいて講義をする。		
授 業 計 画	第1時限	日本農業の現状	
	第2時限	農業の経営形態と経営目標	
	第3時限	農業経営の運営と合理化	
	第4時限	農業経営の診断	
	第5時限	農業経営をとりまく環境	
	第6時限	農業のマーケティング	
	第7時限	農業経営の実際、農業経営事例紹介(外部講師)	
	第8時限	農業経営の実際、農業経営事例紹介(外部講師)	
	第9時限	農業経営の設計	
	第10時限	農業経営の設計	
	第11時限	経営者の実際、経営事例紹介(外部講師)	
	第12時限	経営者の実際、経営事例紹介(外部講師)	
	第13時限	経営概論、経営戦略	
	第14時限	経営概論、経営戦略	
	第15時限	経営シミュレーション	
	第16時限	レポート(またはテスト)	
	②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	農業経営概論(実教出版、大泉一貫ほか)		
成績評価法	出席状況とテストの成績、レポートの提出により評価		
その他	各回の授業内容は状況により変更することがある。		

科目名		農業簿記※		科目番号	基-20
担当教員		経営共同センター税理士、中村雅彦		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	9～11月
単位数		2		必須・選択の別	必須
授業目標		農業簿記の基礎を理解する。			
授業概要		仕訳を理解し、農家の日常の取引に基づいて、簡単な記帳及び決算書が作成できるようになるように講義をし、農業簿記の練習問題と解説を行う。			
授 業 計 画	第1時限	農業簿記の概要			
	第2時限				
	第3時限	勘定科目 現金預金、売掛金、その他資産、その他負債			
	第4時限				
	第5時限	減価償却資産、固定資産			
	第6時限				
	第7時限	決算整理 貸倒引当金、減価償却直接法・間接法 前払金、前受金、未収金、未払金			
	第8時限				
	第9時限	決算書の作成			
	第10時限				
	第11時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題①			
	第12時限				
	第13時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題②			
	第14時限				
	第15時限	まとめ テスト			
	第16時限				
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		農業簿記検定教科書3級(大原出版) 農業簿記検定過去問題集(日本ビジネス技能検定協会)			
成績評価法		試験100%			
その他		1限目～10限目:税理士法人共同経営センター、11限目～16限目:農試			

科目名	労務管理※		科目番号	基-21
担当教員	白川博章(社会保険労務士)	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	<p>一連の「働き方改革関連法」に係る法の施行が定着する中で、労働法は社会の変化とともに常に変革を迫られています。次なる労働法が目指すべき展望としては、以下の点が挙げられます。これらの点を踏まえ、農業経営者として、事業運営に必要な人材を確保・維持し、地域社会に貢献できる事業を継続するために、先進的なトレンドを理解しつつ、その土台となる労務管理の実務的知識を身につけることを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方の多様化と外国人材への対応：フリーランスや副業など従来の雇用形態にとらわれない働き方に加え、農業分野で重要な役割を担う外国人材(特定技能等)の受け入れなど、多様な人材を活用するための契約形態やルール作りが求められています。</li> <li>・AIや自動化の進展への対応：AIやロボットの導入により、業務内容が変化することが予想されます。技術革新に対応した労働者のスキルアップ支援や、安全配慮義務の在り方などが問われています。</li> <li>・柔軟な働き方の定着：デジタル技術の進展により、時間や場所にとらわれない働き方が普及しています。農業経営においても、管理部門でのテレワークや、繁閑に応じた柔軟な労働時間管理など、新たな環境整備が求められています。</li> <li>・長時間労働の是正とワークライフバランス：労働者の健康確保と生産性向上は不可欠な課題です。特に繁忙期のある農業において、いかに法規制を遵守しつつ効率的な働き方を実現するかが重要です。</li> <li>・ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進：性別、年齢、障がい、国籍などにかかわらず、誰もが能力を発揮できる職場環境を作るため、公平な機会を提供する制度設計が求められています。</li> </ul>			
授業概要	<p>近時の労働法の法改正等の動向を踏まえ、より実務的、より先進的な人事・労務管理の具体的な内容を学び、合わせて、一般的な企業と農業における人事・労務管理について、その共通点、相違点を正しく理解する。さらに「労働基準関係法制研究会報告」等の近時の法改正の動向が、農業経営における労務管理に与える影響とその対応方法について考える。</p>			
授業計画	第1時限	労働法(労働基準法、労働契約法)の総論		
	第2時限	働き方改革関連法等、近時の労働者を取り巻く労働環境について		
	第3時限	労働時間管理と休日について		
	第4時限	年次有給休暇とその他の休暇について		
	第5時限	賃金管理について		
	第6時限	割増賃金の制度について		
	第7時限	労働契約、就業規則と個別労働紛争について		
	第8時限	社会保険、労働保険、その他法律について		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	労働関係法の要点、労働保険の事務手続き、社会保険ガイド			
成績評価法	出席状況、各時限後の小テスト及び全授業終了後の課題等により判定する。			
その他				

科目名	就農就業ガイダンス I ※		科目番号	基-22
担当教員	先進農家・原井則之他	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや就職活動を行ううえでの留意点学ぶ。			
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。			
授 業 計 画	第1時限	就活に向けて、各自の目標を見つめ、スケジュールを考える		
	第2時限			
	第3時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会①		
	第4時限			
	第5時限	先進農業者に聞く		
	第6時限			
	第7時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会②		
	第8時限			
	第9時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会③		
	第10時限			
	第11時限	ようこそ先輩		
	第12時限			
	第13時限	インターンシップ		
	第14時限			
	第15時限			
	第16時限			
③1回に2時限または4時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	出席、受講態度、レポート			
その他				

科目名	就農就業ガイダンスⅡ※		科目番号	基-23	
担当教員	先進農家・原井則之他	科目区分	基礎教育科目		
対象学年、コース	2学年	開講時期	通年		
単位数	1	必須・選択の別	必須		
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや社会人として必要なマナーなどを学ぶ。				
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。				
授 業 計 画	第1時限 第2時限	応募書類の書き方、面接のマナー			
	第3時限 第4時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会①			
	第5時限 第6時限	先進農業者に聞く			
	第7時限 第8時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会②			
	第9時限 第10時限	先進農業者に聞く			
	②1回に2時限または4時限分を実施する				
	テキスト、参考書				
	成績評価法	出席、受講態度、レポート			
	その他				

科目名	国際農業論		科目番号	基-24
担当教員	JICA海外協力隊帰国隊員・佐々木省三	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	海外、開発途上国における農業の情勢や農業政策、農業文化等の理解を深める。			
授業概要	国際的な農林業や農業文化等の現状を学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	JAIC香川デスク国際協力推進員 講師 JICA国際協力員 「ルワンダ・セルビアの国内情勢、文化と空手道について」		
	第2時限	JICA海外協力隊帰国隊員講話 講師 JICA国際協力員 「セネガルにおける村落普及開発について」		
	第3時限	JICA海外協力隊帰国隊員講話 講師 JICA国際協力員 「モンゴルの農業情勢、特に花き栽培事情」		
	第4時限	JICA海外協力隊帰国隊員講話 講師 JICA国際協力員 「ネパールにおける協同組合運営の指導について」		
	第5時限	農業の成立と環境、農業が醸成する地域文化 自然・社会環境の変化と世界の食料需給事情、各論、中国の農業 (講師 佐々木省三 氏)		
	第6時限			
	第7時限	東南アジア特にタイとラオスの農業事情・テスト (講師 佐々木省三 氏)		
	第8時限			
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	講師によってテストまたはレポートの提出			
その他	※園芸(野菜・花き・果樹)、畜産コースの受講科目			

科目名	森林科学		科目番号	基-25
担当教員	阿部佑平	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1年生	開講時期	4~5月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	森林の種類、森林の機能について理解を深める。			
授業概要	森林の種類や森林を構成する樹木、森林を取り巻く環境、森林のもっている様々な働きである多面的機能について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	森林の定義と分類		
	第2時限	樹木の特性		
	第3時限	森林の立地環境		
	第4時限	森林生態系の構造		
	第5時限	植生遷移と森林の発達段階		
	第6時限	森林の多面的機能		
	第7時限	木材の性質・用途、特用林産物の生産		
	第8時限	総括、試験		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	森林科学(実教出版)、林産物利用(実教出版)			
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する			
その他	※林業・造園緑化コースの受講科目			

科目名	農業協同組合※		科目番号	基-26
担当教員	香川県農業協同組合職員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	JA組織の概要を理解する。			
授業概要	JAのあらまし・あゆみ、JAの組織・運営、JA事業と活動についてテキストを使って講義をして、必要に応じてビデオ視聴により理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	・JA香川県について・協同理念について	人事部部長	
	第2時限	・アグリワークについて ・JA香川県就農奨学金について	営農部営農振興課	
	第3時限	JA香川県の園芸振興について	営農部園芸指導課	
	第4時限	JA香川県の営農事業(さぬきの米・かがわの麦)	営農部農産指導課	
	第5時限	JAのあらまし、JAの生い立ちと歩み	人事部人事課	
	第6時限	JAの組織・運営、事業と活動	人事部人事課	
	第7時限	総まとめ	人事部人事課	
	第8時限	試験	人事部人事課	
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	私たちとJA			
成績評価法	①試験実施 ②受講態度			
その他				

科目名	農業法人と営農組織		科目番号	基-27
担当教員	近藤 弥、太田健司(農業会議)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	9~10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業・農村の現状と課題、今後の展開方向について学ぶとともに、その中での集落営農組織等の現状生産組織や農業法人(一戸一法人を含む)のあり方について習得する。			
授業概要	全国及び香川県における、土地(農地)と担い手(集落営農を含む)の現状や課題を明らかにし、それらの諸課題に対応するための集落営農組織や農業法人の内容、県下における活動事例を基に、今後の地域農業の維持、発展方向を講義する。また、あわせて食料・農業・農村基本法、農地法、農業経営基盤強化法等による土地と担い手に関する諸政策を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	農業・農村の現状と課題、食料・農業・農村基本法および基本計画		
	第2時限	農地法、農業経営基盤強化法のあらまし		
	第3時限	集落営農組織とその組織化		
	第4時限	県下の集落営農組織		
	第5時限	農業法人のあらまし		
	第6時限	農業法人の設立・運営		
	第7時限	県下の農業法人の活動事例		
	第8時限	テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	農地法、農地関連法制度、農業法人化マニュアル(全農図書)			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	スマート農業		科目番号	基-28
担当教員	農業試験場、農業経営課専門指導員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業の抱える諸問題を解決する手法として脚光を浴びているスマート農業について、その意義や現状、今後の展望等を学ぶ。			
授業概要	①スマート農業技術の技術が開発が進められている背景を知る。 ②ICT技術やAI、ロボット技術など先端技術を、生産管理から販売管理の行程でどのように活用されているのか、主要な技術と今後の展望について知る。			
授 業 計 画	第1時限	スマート農業とは		
	第2時限	園芸作物とスマート農業①		
	第3時限	園芸作物とスマート農業②		
	第4時限	園芸作物とスマート農業③		
	第5時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)①		
	第6時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)②		
	第7時限	水田作物とスマート農業		
	第8時限	水田作物とスマート農業、まとめテスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	関連資料、パンフレット等			
成績評価法	テスト			
その他				

科目名		GAP (Good Agricultural Practices: 農業生産工程管理)		科目番号	基-29
担当教員		森岡健児(株篤農)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	6月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		GAPの基本的な考え方を理解し、自分たちの現場に応じた具体的なルールを作成できる力を身につける。			
授業概要		グループワークを通じて農業現場におけるリスク評価を行い、その結果をもとにGAPに準拠した基準書を作成する。最終的に各グループが作成した基準書の内容を発表し、相互に意見交換を行うことで理解を深める。			
授業計画	第1時限	GAP(農業生産工程管理)とはなにか／事例をもとに意味・意義の紐解き			
	第2時限				
	第3時限	リスク評価の紹介と実践(演習)			
	第4時限				
	第5時限	さまざまなリスク評価の検討／GAPを活用した農業経営の事例紹介			
	第6時限				
	第7時限	これまでの学びのまとめと、作成した基準書の発表・意見交換			
	第8時限				
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		特になし。資料を適宜配布する。			
成績評価法		各回で提出させたレポート内容や受講態度を加味し評価する。			
その他					

科目名	GAP演習 (Good Agricultural Practices:農業生産工程管理)		科目番号	基-30
担当教員	奥田靖子 (農業経営課)、藤井貞吉	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業の現場にとってGAPを実践することの重要性を学び、農業従事の際にGAPを取り入れられるようにする。			
授業概要	グループ分けによるリスク評価をワークショップ形式で実施するとともに、農業経営を想定した経営概況や事故時の対応手順を作成する。			
授業計画	第1時限	ブレインストーミングにより食品安全に関するリスク評価の実施		
	第2時限	リスク評価に基づく対策案の作成		
	第3時限	ブレインストーミングにより労働安全に関するリスク評価の実施		
	第4時限	リスク評価に基づく対策案の作成		
	第5時限	経営概況の作成、事故時の対応手順作成		
	第6時限			
	第7時限	グループ相互による模擬審査		
	第8時限			
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	JGAP総合規則、JGAP農場用管理点と適合基準			
成績評価法	出席状況、授業態度、各授業時間毎の作成物			
その他				

科目名		農業機械操作実習		科目番号	基-31
担当教員		田中利幸他		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	5～12月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		農業、林業用機械、スマート農業機器の操作方法を演習し、ほ場等における取扱いを習得する。			
授業概要		農業用、林業用機械の全般的な操作方法を習得するため、ほ場等で演習を行う。			
授 業 計 画	第1時限	刈払機安全講習①②			
	第2時限				
	第3時限	刈払機安全講習③④			
	第4時限				
	第5時限	【少雨決行】油圧ショベル、小型移動式クレーン、フォークリフト等操作体験／運搬車操作実習（大特コース）			
	第6時限				
	第7時限	トラクター（大特）操作実習（大特コース）			
	第8時限				
	第9時限	【雨天時中止】管理機操作実習 ／直進アシスト機能付きトラクター操作（耕うん）実習			
	第10時限				
	第11時限	スマート農業機械演習			
	第12時限				
	第13時限	【雨天中止、もしくは延期】トラクター（大特）耕うん実習（下所）			
	第14時限				
	第15時限	【雨天時】スマート農業モニタリング操作、スマート農業動画演習			
	第16時限				
	第17時限	スマート農業機械演習			
	第18時限				
	第19時限	【雨天時中止、もしくは延期】マルチャー畝立実習（下所）  ② 1回に2時限分を実施する			
	第20時限				
テキスト、参考書					
成績評価法		受講態度			
その他		天候によって、講義内容を変更または入れ替えて開講。 「情報処理」との表裏開講で、班分けして2班体制で開講する。			

科目名	農業基礎実験		科目番号	基-32
担当教員	農業試験場、農業経営課専門指導員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	9月、12~1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	土壌分析、簡易栄養診断、植物病虫害、微生物の観察と薬剤効果などについて、農業従事者あるいは農業の指導に携わる者が必要な基本的な手法の習得を目指す。			
授業概要	土壌の理化学性、測定方法のほか、植物病虫害や生理障害等の事例を観察、判別方法を演習する。			
授 業 計 画	第1時限	土壌中のN、P、Kの簡易測定		
	第2時限			
	第3時限	植物体中の簡易養分濃度測定		
	第4時限			
	第5時限	病虫害の同定の実際 (検鏡、湿式簡易培養のやり方、主要病害、害虫の同定)		
	第6時限			
	第7時限	生理障害の診断(病害罹病、害虫被害との見分け方)の実際		
	第8時限			
	第9時限	土壌サンプリングと試料調製について(農大野菜ほ場)		
	第10時限			
	第11時限	試料調製とpH、EC測定		
	第12時限			
	第13時限	土壌診断に係る分析機器の使用方法(東讃普及センター/マイクロバス)		
	第14時限			
	第15時限	土壌肥料実験に関するまとめ テスト		
	第16時限			
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	なし			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他	参考書:土壌診断なるほどガイド(農業革新支援センターで用意)			

科目名	パソコン簿記演習		科目番号	基-33
担当教員	中村雅彦(農業試験場)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4~6月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	パソコンによる記帳方法や決算書作成方法、経営分析方法等を学ぶ。			
授業概要	パソコン会計のメリットは、入力データが元帳や試算表などに自動転記され、決算・申告までスムーズに行なえること。農業分野で長年の実績のある会計ソフト「農業簿記9」を使い、農業会計業務の理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	パソコン簿記の概要①		
	第2時限	パソコン簿記の概要②		
	第3時限	初期設定①		
	第4時限	初期設定②		
	第5時限	出納帳入力①		
	第6時限	出納帳入力②		
	第7時限	出納帳入力③		
	第8時限	出納帳入力④		
	第9時限	出納帳入力⑤		
	第10時限	出納帳入力⑥		
	第11時限	決算書の作成①		
	第12時限	決算書の作成②		
	第13時限	決算書の作成③		
	第14時限	決算書の作成④		
	第15時限	経営分析①		
	第16時限	経営分析②		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	主に演習時の提出物により評価する。			
その他	「パソコン簿記演習」、「生物工学実験」、「農業機械整備実習」から1科目選択			

科目名	農業機械整備演習※		科目番号	基-34	
担当教員	(株)中四国クボタ、田中利幸	科目区分	基礎教育科目		
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～6月		
単位数	1	必須・選択の別	選択		
授業目標	農業機械の点検・整備、修理及びエンジンの構造と整備方法を習得する。				
授業概要	教材を用いた実習を主体				
授 業 計 画	第1時限 第2時限	ガソリンエンジンの分解・組立て演習			
	第3時限 第4時限	エンジンの構造と点検整備(クボタ①)			
	第5時限 第6時限	トラクターの点検・整備演習①			
	第7時限 第8時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ②)			
	第9時限 第10時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ③)			
	第11時限 第12時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ④)			
	第13時限 第14時限	トラクターの点検・整備演習②			
	第15時限 第16時限	管理機、運搬車、刈払機の点検・整備、修理演習			
		②1回に2時限分を実施する			
	テキスト、参考書	ディーゼルエンジン整備マニュアル(中四国クボタ教育指導用資料)			
	成績評価法	受講態度			
	その他	「パソコン簿記演習」、「生物工学実験」、「農業機械整備演習」から1科目選択			

科目名	生物工学実験		科目番号	基-35
担当教員	村上恭子・武田真城(農業試験場)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4~6月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授業概要	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授 業 計 画	第1時限	オリエンテーション(演習実施方法等)		
	第2時限	実験室清掃、培地作成準備		
	第3時限	培地作成、メス作成		
	第4時限			
	第5時限	クリーンベンチの使い方、培養練習(アスパラガス無菌播種)		
	第6時限	顕微鏡観察練習(花粉管観察)、メス作成		
	第7時限	培養練習(キク継代)		
	第8時限	メス作成		
	第9時限	培養物生育調査、生長点摘出練習(カーネーション)		
	第10時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第11時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第12時限	電気泳動用ゲル作製、アスパラガスDNA抽出		
	第13時限	農試見学、アスパラガス雌雄の遺伝子判別		
	第14時限			
	第15時限	鉢上げ、順化(キク、アスパラガス等)、試験管等洗浄、片付け		
	第16時限			
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	毎回レポートを提出し、評価点の参考とする			
その他	8時50分までに白衣を着用して授業が受けられる態勢にしておくこと 演習の最後に全員で清掃点検を行う 「パソコン簿記演習」、「生物工学実験」、「農業機械整備実習」から1科目選択			

科目名	鳥獣害対策演習		科目番号	基-36
担当教員	農業経営課、みどり保全課他	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	1～2月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	作物栽培に大きな被害を与える鳥獣害の現状、被害の特徴、対策について、現地事例や実技を通じて学ぶ。			
授業概要	①県下の鳥獣害の現状や被害防止対策について、現地事例を通じて学ぶ。 ②鳥獣害対策について、関連する法律や実技について学ぶ。 ③狩猟免許取得に向けての知識・技術を修得する。			
授 業 計 画	第1時限 第2時限	鳥獣害の現状と被害対策について【講義】(経営課・専指)		
	第3時限 第4時限	鳥獣害対策に関連する法律と狩猟免許について【講義】(みどり保全課)		
	第5時限 第6時限	・集落ぐるみの獣害対策【講義】(外部講師) ・ジビエ加工【演習】(外部講師) ※班分けのうえ交互開講とする。		
	第7時限 第8時限	・狩猟の魅力の紹介【講義】(外部講師) ・テスト(経営課・専指)		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	テスト、レポート、受講態度等により総合的に評価			
その他				

科目名	現場実習Ⅰ（前期）※		科目番号	基-37
担当教員	先進農家	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	県内、地域の農業の現状や農業経営等の実態を体験する。			
授業概要	農家実習実施要領による。			
授 業 計 画	第1時限 ・ 第4時限	地域農業情勢学習（東讃・中讃・西讃地区に分かれて実施）		
	第5時限 ・ 第8時限	現場実習①		
	第9時限 ・ 第12時限	現場実習②		
	第13時限 ・ 第16時限	現場実習③		
	第17時限 ・ 第20時限	現場実習④		
	第21時限 ・ 第24時限	現場実習⑤		
		⑤実習は1回に4時限分を実施する		
	テキスト、参考書			
成績評価法	農家実習報告書及び農家実習記録、レポートによる			
その他				

科目名		現場実習Ⅰ（後期）※		科目番号	基-38	
担当教員		先進農家	科目区分	基礎教育科目		
対象学年、コース		1学年	開講時期	10～11月		
単位数		1	必須・選択の別	必須		
授業目標		県内、地域の農業の現状や農業経営等の実態を体験する。				
授業概要		農家実習実施要領による。				
授 業 計 画	第1時限 ・ 第4時限	現場実習①				
	第5時限 ・ 第8時限	現場実習②				
	第9時限 ・ 第12時限	現場実習③				
	第13時限 ・ 第16時限	現場実習④				
	第17時限 ・ 第20時限	現場実習⑤				
	第21時限 ・ 第24時限	現場実習報告会				
						⑤実習は1回に4時限分を実施する
	テキスト、参考書					
成績評価法		農家実習報告書及び農家実習記録、レポート、報告会の発表や参加態度による				
その他						

科目名	インターンシップ※		科目番号	基-39
担当教員	先進農家等	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1、2学年	開講時期	通年	
単位数	1(各学年で1)	必須・選択の別	選択	
授業目標	いち早く職業体験することで、卒業後の就農率向上や農業法人、林業、造園業等への就職促進を図る。			
授業概要	インターンシップ実施要領による。			
授業計画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限	実習		
		⑨実習は1回に4時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	インターンシップ実施申請、実施計画、実施報告書による			
その他	長期休暇中に2日間(8時限)履修で1単位とする			

科目名	特別講義・学校行事		科目番号	基-40
担当教員	関係機関、校内教授	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	1(2学年時と併せて2)	必須・選択の別	必須	
授業目標	社会性、協調性を高める。			
授業概要	特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授業計画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限 第9時限 第10時限 第11時限 第12時限 第13時限 第14時限 第15時限 ・ 第72時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、現地研修、スポーツ大会、卒論計画発表会、卒論中間報告会、防火訓練、収穫祭、四国地区意見発表会、卒論発表会、卒業式		
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況と取組み態度による			
その他				

科目名	特別講義・学校行事		科目番号	基-41
担当教員	関係機関、校内教授	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	通年	
単位数	1(1学年時と併せて2)	必須・選択の別	必須	
授業目標	社会性、協調性を高める。			
授業概要	特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授 業 計 画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限 第9時限 第10時限 第11時限 第12時限 第13時限 第14時限 第15時限 ・ 第58時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、現地研修、スポーツ大会、卒論計画発表会、卒論中間報告会、防火訓練、収穫祭、卒論発表会		
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況と取組み態度による			
その他				